



校長講話「知ってる？南極のこと」

四国中央市政20周年を記念して、10月5日（土）、6日（日）には、35年ぶりに南極観測船「しらせ」が四国中央市にやってきました。校長をはじめ、多くの中之庄っ子たちが見学に行きました。そこで、南極のことを子どもたちに伝えたいと、購入したしらせのTシャツを着て校長講話「知ってる？南極のこと」と題して、「しらせ」のことや南極の位置などについて話をしました。令和2年度の課題図書「北極と南極のくらべてわかる地球のこと」の中からクイズを出題しました。

- ① 南極と北極はどちらが寒い？・・・(答) 南極
- ② ペンギン、あざらし、クジラ、シロクマのうち、南極にいないのは？・・・(答) シロクマ
- ③ 南極の氷は食べることができるの？・・・(答) 食べられない

南極は、どこの国のものでもなくみんなのものであることや、地球温暖化についてお話がありました。南極の氷がどんどん溶けていること、その影響で多くの国や人々、動物たちが被害を受けていることを伝え、地球温暖化を防ぐために私たちにできることについて考えました。SDGsについても触れ、環境を守るために自分たちにできることを考え実行することの大切さを話しました。地球はみんなの宝物です。美しい地球を守るために自分ができることを考え、実行していきたいですね。

(Information)

「北極と南極のくらべてわかる地球のこと」の著者である中山由美記者さんが、小学生向けの15分番組「未来はっけん！地球探検～南極記者“ゆみねえ”と考えるSDGs」を制作されています。是非視聴してみてくださいね。



青色防犯パトロールの方々との対面式

9日（水）、四国中央警察署、防犯協会、中之庄補導委員の皆さんが参加して下さり対面式を行いました。子どもたちが安全な登下校ができるようにいつも見守ってくださっており、本当にありがとうございます。青色防犯パトロールは、見た人に安心感を与え、防犯意識の向上につながるとともに、犯罪企図者に対する抑止効果も高いと考えられています。中之庄小学校の子どもたちが安全、安心に過ごせるように活動して下さっている皆さんに感謝しながら、これからも安全な登下校を心掛けます。

